

社会調査 第15回

早稲田大学政治経済学部

2018年度秋学期

西郷浩(前半)・土屋隆裕(後半)

本日の目標

- 第15回講義
 - 前半(第15回まで)のレポートの説明
 - 我が国の統計制度
 - eStatの利用方法(公的統計)
 - SSJデータアーカイブの利用方法(民間統計)

前半（第15回まで）のレポート

- 内容

- 総務省「社会生活基本統計」を用いてレポートを作成し、提出せよ。

- 話題数: 2つ

- 生活時間編からひとつ(2ページ程度)

- 生活行動編からひとつ(2ページ程度)

- 期限

- 2018年12月9日(日)23:59

- ネットワークのトラブル等への事後的な対応はしません。時間に余裕をもって提出すること。

前半（第15回まで）のレポート

- 用紙
 - A4用紙を使用すること。
- 書式
 - 所定の書式を使うこと。
 - Course N@vi で講義のサイトからダウンロードできる。
 - MS Word 以外のソフトウェアを使うときは、MS Word と一緒に掲示してある書式の pdf を参考に各自で作成すること。
 - 赤字の部分を消して、求められている内容を自分で作成していく。

前半（第15回まで）のレポート

- 提出方法

- pdf を作成して Course N@vi に提出する。

- ファイル名 : 社会調査2018_学籍番号_氏名

- 注意

- 基礎演習で学んだこと(図表の提示の仕方、参考文献の引用の仕方、剽窃厳禁など)を守ること。

我が国の統計制度

- 分散型統計機構

- 府省(政策当局)が統計を企画・設計する。

- 長所:

- 政策に必要な統計が早期に企画・設計できる。

- 短所:

- 類似の統計が作成され、回答の負担が大きくなりやすい。

- » 調整機能が必要になる。

- 対応策:[政策統括官\(統計基準担当\)](#)、[統計委員会](#)

- 調査技術の蓄積が個別的・非効率になりやすい。

- 予算削減の対象とされやすい。

- » 2018年4月1日:本省庁1454人、地方支分部局486人

- 統計の報告(発表)に統一性を持たせにくい。

我が国の統計制度

- ユーザー側から見た短所
 - 統計が府省間に分散している
 - 必要な統計が見つけにくい。
 - » そのような不便を解消する試み: eStat
- 我が国の統計制度についての詳細
 - 統計制度についての説明
 - http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/index.htm
 - 統計委員会の議事録等
 - http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/toukei/index.html

eStat の利用方法

- eStat
 - 政府統計の総合窓口
 - <https://www.e-stat.go.jp/>
- データの探し方
 - ファイルから探す。
 - 最初はこちらから使うとよい。
 - データベースから探す。
 - データの様子が分かってきたら、こちらも活用する。

SSJDA

- SSJDA
 - 東京大学社会科学研究所による、研究者の実施した社会調査データなど民間データの寄託を受けて、統計データの2次分析のために公開している。
 - <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/>
 - 学部の学生でも個票データが利用できる。
 - ただし、指導教員の承認が必要とされる。
 - Online Analyzer が利用可能。